



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 鈴茂器工株式会社

上場取引所 東

コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 美奈子

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 志賀 融

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	3,940	15.5	224	65.4	227	65.3	155	64.4
30年3月期第2四半期	4,661	0.4	649	4.7	654	4.2	436	40.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 49百万円 (88.5%) 30年3月期第2四半期 432百万円 (48.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	23.98	
30年3月期第2四半期	72.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	13,213	11,191	84.7
30年3月期	13,120	11,238	85.7

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 11,191百万円 30年3月期 11,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		15.00	15.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	12.2	450	63.7	450	63.6	300	64.0	46.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	6,480,000 株	30年3月期	6,480,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	2,905 株	30年3月期	2,841 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	6,477,120 株	30年3月期2Q	6,057,245 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、鉱工業生産には持ち直しの兆しが見られ、また家計部門が堅調に推移する等、景気の回復基調が持続しました。内需では企業収益が堅調な中、設備投資は人手不足を背景とした省力化投資等を中心に増加基調となりました。個人消費については、雇用・所得環境の改善により回復基調となりました。外需では、輸出は増加基調が続く見通しながら、米国トランプ政権の保護主義への傾斜とそれに伴う貿易摩擦の激化が懸念される状況です。

外食産業につきましては、全体的な売上は引き続き増加基調にありますが、人手不足は慢性化しており、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループとしては、お客様にとって満足度が高く、いち早くご相談・ご用命いただける会社として「ファーストコールマシナリー」になること、そして「信頼され、信頼に応えられる企業」を目指し、高付加価値製品の開発や、更なる販売体制の強化を行ってまいりました。

販売状況につきましては、主力製品である店舗向け小型ロボットや大型機をベースに、省力化・省人化をはじめとしたお客様のニーズに沿った営業活動を展開してまいりました。また、国内では、当社独自の展示会「スズモフェア」を中心に各種展示会を計画通り開催いたしました。海外につきましては、寿司文化の浸透を世界に働きかけるため、大規模な国際展示会に参加するとともに海外販売店との円滑な展開を収めました。

子会社では、株式会社セハージャパンは、アルコール系洗浄剤や離型油等の販売拡大を積極的に展開し、Suzumo International Corporation (SIC) およびSuzumo Singapore Corporation (SSC) は、小型ロボットを中心に積極的な販売活動を行いました。

当第2四半期連結累計期間においては、主力の米飯加工機械関連事業における海外向け機械販売は、寿司やおにぎり等の米飯食文化の広がりを背景として概ね堅調に推移いたしました。しかしながら、国内向け機械販売は、外食を中心とした主要顧客の業績の不透明感の高まりにより、主要顧客の新規出店数が当初見込みより減少したことを主要因として機械販売台数が計画を下回ることとなりました。また、当第2四半期より販売を予定していた新規機械の開発が、顧客との仕様調整に想定よりも時間を要していることから、販売時期が来期にずれ込むこととなりました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間における売上高合計は39億40百万円(前年同期比15.5%減)となりました。また、利益につきましては、営業利益2億24百万円(前年同期比65.4%減)、経常利益は2億27百万円(前年同期比65.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億55百万円(前年同期比64.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(米飯加工機械関連事業)

米飯加工機械関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は36億3百万円(前年同期比17.1%減)、営業利益は2億19百万円(前年同期比66.2%減)となりました。

(衛生資材関連事業)

衛生資材関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は3億36百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は5百万円(前年同期比904.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円増加し132億13百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億9百万円減少した一方で、投資有価証券が94百万円、たな卸資産が55百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加し20億22百万円となりました。これは主に、買掛金が1億9百万円、未払法人税等が1億8百万円減少した一方で、退職給付に係る負債が2億55百万円、賞与引当金が1億9百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し111億91百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により97百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益により1億55百万円増加したことに加え、退職給付に係る調整累計額が1億62百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が63百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値につきましては、平成30年10月30日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,609,543	6,598,493
受取手形及び売掛金	1,185,151	1,076,099
たな卸資産	1,605,404	1,661,081
その他	46,823	65,844
流動資産合計	9,446,922	9,401,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,545,094	1,516,279
土地	1,062,506	1,062,506
その他(純額)	115,997	114,930
有形固定資産合計	2,723,597	2,693,716
無形固定資産	82,052	114,777
投資その他の資産		
投資有価証券	368,496	463,029
繰延税金資産	307,037	342,957
その他	202,752	206,375
貸倒引当金	△10,090	△8,890
投資その他の資産合計	868,196	1,003,471
固定資産合計	3,673,846	3,811,966
資産合計	13,120,769	13,213,485
負債の部		
流動負債		
買掛金	400,911	291,388
未払法人税等	181,557	73,453
賞与引当金	161,354	271,192
その他	383,008	376,437
流動負債合計	1,126,831	1,012,471
固定負債		
繰延税金負債	1,209	1,215
役員退職慰労引当金	14,368	15,568
退職給付に係る負債	657,741	913,429
その他	81,722	79,332
固定負債合計	755,041	1,009,546
負債合計	1,881,872	2,022,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	982,960	982,960
利益剰余金	9,015,896	9,074,084
自己株式	△3,339	△3,498
株主資本合計	11,149,935	11,207,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,115	148,643
為替換算調整勘定	10,380	4,090
退職給付に係る調整累計額	△6,535	△169,230
その他の包括利益累計額合計	88,961	△16,496
純資産合計	11,238,896	11,191,467
負債純資産合計	13,120,769	13,213,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,661,563	3,940,075
売上原価	2,399,852	2,050,718
売上総利益	2,261,710	1,889,357
販売費及び一般管理費	1,611,780	1,664,472
営業利益	649,929	224,884
営業外収益		
受取利息	640	635
受取配当金	1,297	1,550
為替差益	3,929	—
その他	1,101	958
営業外収益合計	6,970	3,144
営業外費用		
手形売却損	44	60
売上割引	1,913	599
為替差損	—	88
保険解約損	790	—
その他	17	0
営業外費用合計	2,765	748
経常利益	654,134	227,279
特別利益		
有形固定資産売却益	—	688
特別利益合計	—	688
税金等調整前四半期純利益	654,134	227,968
法人税等	217,636	72,623
四半期純利益	436,497	155,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	436,497	155,344

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	436,497	155,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,124	63,527
為替換算調整勘定	△11,202	△6,290
退職給付に係る調整額	240	△162,694
その他の包括利益合計	△3,837	△105,457
四半期包括利益	432,660	49,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	432,660	49,887
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。